

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2016-202951(P2016-202951A)

【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-154929(P2016-154929)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月8日(2017.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態に制御するか否かと、前記有利状態として、第1有利状態と、該第1有利状態とは遊技者にとっての有利度が異なる第2有利状態とを含む複数種類の有利状態のうちいずれに制御するかとを決定する決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って1段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であって、前記有利状態に制御される場合は該有利状態に制御されない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段と、

前記予告演出決定手段により決定された前記ステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段と、

可変表示が開始されてから表示結果が導出されるまでに一旦仮停止態様を仮停止させた後、可変表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示手段とを備え、

前記ステップアップ予告演出が実行されるときには、前記決定手段により前記第1有利状態に制御すると決定された場合と前記第2有利状態に制御すると決定された場合とで、前記複数の演出のうちいずれの段階目の演出まで演出が行われるかの割合が異なり、

前記予告演出決定手段は、

前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出において行われる複数の演出の態様が第1の態様である第1ステップアップ予告演出を決定する第1ステップアップ予告演出決定手段と、

前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出において行われる複数の演出の態様が前記第1の態様と異なる第2の態様である第2ステップアップ予告演出を決定する第2ステップアップ予告演出決定手段とを含み、

前記予告演出実行手段は、

前記第1ステップアップ予告演出決定手段により前記第1ステップアップ予告演出が決定され、かつ、前記第2ステップアップ予告演出決定手段により前記第2ステップアップ予告演出が決定されたときに、前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり、

複数の演出手段を用いて前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予

告演出とを実行可能であり、

少なくとも前記第1ステップアップ予告演出を、前記再可変表示手段により実行される再可変表示の各々において実行可能であり、

前記第1ステップアップ予告演出決定手段は、前記再可変表示手段により実行される再可変表示の各々において前記第1ステップアップ予告演出が実行される場合に、該再可変表示の各々において実行される前記第1ステップアップ予告演出の前記第1の態様を、可変表示が開始されるときに決定する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に係り、詳しくは、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、前記有利状態に制御するか否かと、前記有利状態として、第1有利状態と、該第1有利状態とは遊技者にとっての有利度が異なる第2有利状態とを含む複数種類の有利状態のうちいずれに制御するかとを決定する決定手段（例えばCPU103がステップS253の処理を実行する部分など）と、前記決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って1段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であって、前記有利状態に制御される場合は該有利状態に制御されない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段（例えば演出制御用マイクロコンピュータ120のCPU231がステップS545の予告演出設定処理を実行する部分など）と、前記予告演出決定手段により決定された前記ステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段（例えばCPU231がステップS565の処理を実行する部分など）と、可変表示が開始されてから表示結果が導出されるまでに一旦仮停止態様を仮停止させた後、可変表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示手段とを備え、前記ステップアップ予告演出が実行されるときには、前記決定手段により前記第1有利状態に制御すると決定された場合と前記第2有利状態に制御すると決定された場合とで、前記複数の演出のうちいずれの段階目の演出まで演出が行われるかの割合が異なり（例えば図32および図35を参照）、前記予告演出決定手段は、前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出において行われる複数の演出の態様が第1の態様である第1ステップアップ予告演出（例えば表示系予告CAY1の表示系予告パターン種別に含まれる予告演出など）を決定する第1ステップアップ予告演出決定手段（例えばCPU231がステップS727の処理を実行する部分など）と、前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出において行われる複数の演出の態様が前記第1の態様と異なる第2の態様である第2ステップアップ予告演出（例えば部材系予告パターンによる予告演出など）を決定する第2ステップアップ予告演出決定手段（例えばCPU231がステップS730の処理を実行する部分など）とを含み、前記予告演出実行手段は、前記第1ステップアップ予告演出決定手段により前記第1ステップアップ予告演出が決定され、かつ、前

記第2ステップアップ予告演出決定手段により前記第2ステップアップ予告演出が決定されたときに、前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり（例えばCPU231が、ステップS727にて表示系予告パターンYAP1-1～表示系予告パターンYAP1-10のいずれかに決定した後、ステップS730にて部材系予告パターンYBP1-1～部材系予告パターンYBP1-10のいずれかに決定したときに、ステップS546にて決定した演出制御パターンに基づきステップS565の処理を実行する部分など）、複数の演出手段を用いて前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とを実行可能であり、少なくとも前記第1ステップアップ予告演出を、前記再可変表示手段により実行される再可変表示の各々において実行可能であり、前記第1ステップアップ予告演出決定手段は、前記再可変表示手段により実行される再可変表示の各々において前記第1ステップアップ予告演出が実行される場合に、該再可変表示の各々において実行される前記第1ステップアップ予告演出の前記第1の態様を、可変表示が開始されるときに決定する。

このような構成によれば、第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能とすることで、多種多様な演出動作を実行して、遊技の興趣を向上させることができる。